



2025年12月30日
第109号

JR 東労組 
Yokohama

JR東労組横浜地本

発行人 梶田 優一
編集 情宣 担当
ホームページ



<http://www.jreu-yokohama1.jp/>

「統括センターにおける業務執行体制の見直しについて」提案を受ける

地本は12月25日、横浜支社より表題の提案を受けました。提案内容および会社との議論については以下の通りです。

実施箇所	川崎統括センター（鶴見駅、南武線オフィス、鶴見線オフィス）
実施内容	川崎統括センター（現呼称）において、エリア内の乗務業務の一元化を図る。鶴見線オフィスの一部業務は、川崎統括センターの駅が担う。
実施日	2027年春
その他	(1)必要な周知・教育および設備整備を実施する。 (2)具体的な実施日および箇所体制については別途提案する。 (3)鶴見線オフィスの運行管理業務は、横浜指令室（仮称）へ移管する。

<主な提案時のやりとり>

組合側	会社側
本施策は、「組織の再編」施策による事業本部化が行われても継続して進めるのか？	その通りである。現行の箇所は残る。
乗務員区が2つであるが、 <u>出勤箇所の考え方は</u> どうなるのか？	検討中である。様々な方法が考えられる。
<u>行路や交番の考え方</u> はどうなるのか？ 南武線と鶴見線を混みとするのか？	行路や交番の組み方は <u>今後検討していく</u> 。
「2027年春」の実施とあるが、その時点で <u>全運転士が全区間を乗れる状態になるのか？</u>	2027年春の時点では全員ができるとは考えていない。 <u>最低でも数年はかかると考えている</u> 。
乗務の一元化は全員が対象なのか、希望者を対象とするのか？ 納得できる意識づけを行うか？	めざすところは全員であるが、本人の適性を踏まえて判断していく。丁寧な意識づけを行っていく。
今後のスケジュールの中で、「訓練・教育および設備整備」とあるが、どのような内容なのか？	<u>まずは指導担当の線見を進めていく</u> 考えである。設備整備はシミュレータや遠隔放送システムを考えている。
乗務員養成についての考え方はどうなるのか？	今後検討していく。
国府津までの転削回送など、特殊作業についての考え方はどうか？	融合を進めていきたい考えである。
実施箇所の「鶴見駅」の考え方は何か？	現在も鶴見線オフィスが指示業務等で融合しており、今後駅からは鶴見線の線区管理業務（着札回収や回金、構内作業等）の融合を考えている。
本施策の出発点は現場なのか、支社・本社なのか？	会社として検討し提案を行っている。川崎統括センターは乗務員の融合が進んでいないため選定した。

エリア内の乗務員区の一元化という新たな働き方が示されました。想定される問題について職場議論を深め、団体交渉につなげよう！